



カエルはどうして^{あめ ひ な}雨の日に鳴くの

カエルが^な鳴くのは、どんなとき

カエルの^な鳴き声を、よく^き聞くようになるのは、^{はるさき}春先から^{なつ}夏の^{はじ}初めにかけてです。このころのカエルは、オタマジャクシからカエルになったばかりとか、^{なが}長い^{とうみん}冬眠からさめて、あなかから^で出てきたところ^{しそん}です。子孫を^ふやすため、^{けっこん}すぐ^{あいて}結婚相手を^{さが}探さなければなりません。

そこで、おもにオスのカエルが、メスを^よ呼ぶためによく^な鳴くのです。ほかのオスには、^{じぶん}自分の^なわ張りを^な鳴き声で^{つた}伝えているのだといわれています。

カエルは、^{ひるま}昼間は^{てき}敵が多いので、^{もの}物かげにかくれて^{しず}静かにしています。だいたい、^{よるかっどう}夜活動するため、よく^な鳴くのも^{よる}夜です。メスも^な鳴く^{しゅるい}種類もいますが、オスのカエルだけが^な鳴くことが^{おほ}多いです。

^{あめ}雨が^ふ降ると^な鳴くのは、^{なかま}アマガエルの仲間

^{たまご}卵を^う産む^{じき}時期が^{なつ}すぎた^な夏は、^{しゅるい}鳴くカエルの^{すく}種類は^{なかま}少なくなり、アマガエルの仲間だけになります。^{あめ}雨の日によく^な鳴くのは、このアマガエルの^{なかま}仲間です。^{あめ}雨の日は、^{しめ}まわりが^{くら}湿って^{よる}うす暗くなるので、^{よる}夜がきたと^なかんちがいして^な鳴くといわれています。

^{あめ}雨が^ふ降りそうになる^{まえ}前も、アマガエルは^き気が^{あつ}下がって^{しっけ}湿気が^{おほ}多くなることから、「^{あめ}雨が^ふ降るよ」と、^な鳴き出すことが^し知られています。

(監修・今泉 忠明)

